

新年のご挨拶

福岡県火薬類保安協会 会長 才田 善之

令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は、本協会の活動に格別なご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年5月、ようやく新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行し、日本もようやく「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあります。

このような中、九州を訪れる外国人もコロナ禍前とほぼ同水準まで回復しており、また、経済動向においても、企業部門では生産、貿易、設備投資等で前年を上回り、家計部門も消費は緩やかに回復し、雇用情勢も改善しているようでございます。

協会事業におきましても、ここ数年、コロナ感染防止の観点から自宅学習方式で行われていた保安教育講習会が、昨年6月から対面方式により実施できるようになりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が制限されておりました花火大会などイベント復活の動きが見られる中、会員の皆様におかれましては、公共の安全を確保する自主保安活動を推進していただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨年※の火薬類関係事故は、全国で78件発生し、そのうち産業火薬の事故は4件、煙火は55件及びがん具煙火が19件となっており、一昨年に比べ煙火を中心に大幅な増加となっております。県内でも1件、煙火の事故が発生しております。会員の皆様におかれましては、今後も引き続き事故を防止するため、継続的に保安教育を実施いただき、法令遵守はもとより安全管理体制の構築に努めていただきますよう、お願い申し上げます。※令和5年11月末時点

当協会といたしましても、火薬類の保安の確保、安全・安心な利用を促進するため、皆様のご協力を仰ぎながら、各種講習会の開催、巡回指導などの活動に取り組む所存でございますので、皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年火薬類危害予防週間ポスターから

「慣れ、油断、過信が重大事故に繋がります。いつも心に危機意識を！」